

2021年1月5日

インターネット学習年間上限の変更について

2021年4月1日以降の申請からインターネット学習の年間上限が変更になります。

インターネット学習とは形態コード 402、403 で登録された学習となります。形態コード 402 は 2017 年度以前、形態コード 403 は 2018 年度以降のインターネット学習です。

【現状】

学習履歴証明書発行時に**年間6ユニットを超えた分に関しては除外する。**

【変更】

学習履歴証明書発行時に、インターネット学習以外のユニット全てを合計した値と同じユニット数までインターネット学習のユニットを反映することができる。

ただし、インターネット学習以外のユニット数が6ユニット以下の場合は上限を6ユニットとする。(現状のユニットを担保する為)

※**インターネット学習以外のユニット全てを合計した値**とは、上限調整を行った後の値とする。

※**CPDS 認定**オンラインセミナーはインターネット学習としては扱わない。

個人のユニット数、個別の申請についてのお問い合わせはご遠慮いただきますようお願いいたします。

2021年4月1日以降、個人(又は社員データ)IDでログイン後、ユニット数の確認ができる画面をご用意します。

※現状もユニット数が確認できる画面がありますが、4月1日以降変更後の計算には対応していません。

●年間取得目標のユニット数がある場合の計算

(例 1) 年間 10 ユニットを目標

形態コード 403 は最大 6 ユニットまで取得可能。

(例 2) 年間 20 ユニットを目標

形態コード 403 は最大 10 ユニットまで取得可能。

(例 4) 年間 30 ユニットを目標

形態コード 403 は最大 15 ユニットまで取得可能。

(例 5) 年間 25 ユニットを目標

形態コード 403 は最大 12 ユニットまで取得可能。

(例 6) 年間 35 ユニットを目標

形態コード 403 は最大 17 ユニットまで取得可能。

●登録しているユニットから、形態コード 403 の年間上限を計算する場合

【ケース 1】

以下のようにユニット登録があり、2020/02/01～2021/1/31 の 1 年間で学習履歴証明書を発行したい。

2020/04/05 形態コード 403 6 ユニット
2020/05/06 形態コード 106 12 ユニット
2020/07/01 形態コード 403 6 ユニット
2020/09/22 形態コード 103 4 ユニット
2020/10/01 形態コード 101 3 ユニット
2020/10/04 形態コード 403 6 ユニット
2020/10/05 形態コード 101 1 ユニット
2020/10/06 形態コード 403 6 ユニット

形態コード 103・106 は年間上限があるので調整をする（従来通りの規定）。

2020/05/06 監理技術者講習 形態コード 106 12 ユニット
2020/09/22 河川の維持管理 形態コード 103 4 ユニット

12 ユニット + 4 ユニット = 16 ユニット

形態コード 106 と 103 は 1 時間 2 ユニットで登録しているが、合計 12 ユニットを超えた場合は 1 時間 1 ユニットで計算する。

12 ユニットを超えた 4 ユニットに関しては、1 時間/1 ユニットの計算になり 2 ユニットに調整される。

よって、形態コード 106・103 は合計で「14 ユニット」となる。

形態コード 403 以外のユニットが 【合計 18 ユニット】

2020/05/06	形態コード 106	12 ユニット	} 合計 14 ユニット
2020/09/22	形態コード 103	4 ユニット	
2020/10/01	形態コード 101	3 ユニット	
2020/10/05	形態コード 101	1 ユニット	

形態コード 403 以外のユニット数「18 ユニット」が形態コード 403 の上限となる。

形態コード 403 の合計が 24 ユニットだが、調整され【18 ユニット】となる。

2020/04/05 WEB 学習 形態コード 403 6 ユニット
2020/07/01 WEB 学習 形態コード 403 6 ユニット
2020/10/04 WEB 学習 形態コード 403 6 ユニット
2020/10/06 WEB 学習 形態コード 403 6 ユニット

形態コード 403 以外と形態コード 403 を合計した数値が合計ユニット数となる。

形態コード 403 以外 18 ユニット + 形態コード 403 18 ユニット
= 合計 36 ユニット

学習履歴証明書には【36 ユニット】と表示される。

【ケース 2】

以下のようにユニット登録があり、2020/02/01~2022/1/31 の 2 年間で学習履歴証明書を発行したい。

年間上限の計算は履歴証明書の証明期間の1年ごとに計算する（従来通りの規定）。

2020/04/05	形態コード 403	6 ユニット	} 2020/02/01~2021/1/31
2020/05/06	形態コード 106	12 ユニット	
2020/07/01	形態コード 403	6 ユニット	
2020/09/22	形態コード 103	4 ユニット	
2020/10/01	形態コード 101	3 ユニット	
2020/10/04	形態コード 403	6 ユニット	
2020/10/05	形態コード 101	1 ユニット	
2020/10/06	形態コード 403	6 ユニット	
2021/02/22	形態コード 403	1 ユニット	} 2021/02/01~2022/1/31
2021/03/06	形態コード 108	5 ユニット	
2021/03/02	形態コード 403	2 ユニット	
2021/06/22	形態コード 108	3 ユニット	
2022/01/08	形態コード 101	3 ユニット	

2020/02/01~2021/1/31 の1年目については【ケース 1】の計算と同じなので、**合計 36 ユニット**となる。

2021/02/01~2022/1/31 の2年目の計算

2021/02/22	形態コード 403	1 ユニット
2021/03/06	形態コード 108	5 ユニット
2021/03/02	形態コード 403	2 ユニット
2021/06/22	形態コード 108	3 ユニット
2022/01/08	形態コード 101	3 ユニット

形態コード 108 は年間上限があるので調整をする（従来通りの規定）。

2021/03/06 形態コード 108 5 ユニット

2021/06/22 形態コード 108 3 ユニット

合計 8 ユニットだが、年間上限の調整をして「6 ユニット」となる。

形態コード 403 以外のユニットが 【合計 9 ユニット】

2021/03/06	形態コード 108	5 ユニット	} 合計 6 ユニット
2021/06/22	形態コード 108	3 ユニット	
2022/01/08	形態コード 101	3 ユニット	

形態コード 403 以外のユニット数「9 ユニット」が形態コード 403 の上限となる。

2021/02/22 形態コード 403 1 ユニット

2021/03/02 形態コード 403 2 ユニット

形態コード 403 の合計が 3 ユニットなので上限調整はなく【3 ユニット】となる。

形態コード 403 以外と形態コード 403 を合計した数値が合計ユニット数となる。

形態コード 403 以外 9 ユニット + 形態コード 403 3 ユニット
= 合計 12 ユニット

1 年目 36 ユニット + 2 年目 12 ユニット = 合計 48 ユニット

学習履歴証明書には【48 ユニット】と表示される。

【ケース2】の計算例

2020/02/01～2021/01/31 (1年目)

登録されている ユニット数	101 (上限なし) 4ユニット	106 12ユニット	103 4ユニット
		計16ユニット	
調整		年間12ユニットを超えた分は 1ユニット/1時間で計算	
調整ユニット数	4ユニット	14ユニット	
登録されている ユニット数	403 24ユニット		
調整	403以外のユニット数と同数		
調整ユニット数	18ユニット		

403以外の調整後の計
18ユニット1年間 合計
36ユニット

2021/02/01～2022/01/31 (2年目)

登録されている ユニット数	101 (上限なし) 3ユニット	108 8ユニット
調整		年間6ユニットを超えた分は除外
調整ユニット数	3ユニット	6ユニット
登録されている ユニット数	403 3ユニット	
調整		
調整ユニット数	3ユニット	

403以外の調整後の計
9ユニット1年間 合計
12ユニット

2020/02/01～2022/01/31の2年間 合計

48ユニット